

## 令和4年度 第13回部長会議 会議記録（要旨）

開催日時：令和5年2月1日（水） 13時00分から16時00分まで

開催場所：分散型WEB会議（市長公室、A203-204会議室）

出席者：佐藤市長、高田副市長、熊谷教育長、原田総務部長、塚平企画部長、細田リニア推進部長、塚平市民協働環境部長、高山健康福祉部長、串原産業経済部長、今産業経済部参事、米山建設部長、毛利建設部参事、田中危機管理部長、土屋上下水道局長、齊藤市立病院事務局長、北原会計管理者、松下教育委員会参与、佐々木財政課長、小室秘書課長、小椋南信州広域連合事務局次長、筒井議会事務局次長、林企画課長

## 会議内容

## 1 理事者あいさつ

## ＜市長＞

- ・新しい年になって早くも1カ月が経過し、本日、新年度予算の査定が終了した。予算要求していただいた皆さん、査定をしていただいた皆さん、それぞれに感謝を申し上げる。
- ・予算編成方針を示し、その方針に基づいた予算要求となっているが、必ずしも十分に反映したものとなっていない分野もある。また、最終段階で計上した予算や当初予算には十分盛り込めず課題を残して新年度を迎えるものもある。当初予算を編成して終わりではなくて、予算執行やこれから補正予算を組んでいくことも含め、来年度に向けて各部局等でしっかりと準備し、取り組んでいただきたい。

## ＜副市長＞

- ・第1回定例会が近づいている。当初予算と一緒に、例えば道の駅遠山郷、南信濃の診療所、舟下りに係る南信州リゾートへの支援といった、新しい方針、考え方を議会に対して示すこととなる。しっかりと説明し、理解をいただかなければいけない。当初予算説明では考え方を説明できるよう、打ち合わせや準備をしっかりと行うこと。
- ・水道料金の改定について、上下水道事業運営審議会へ諮問を行っている。上下水道事業運営審議会の委員の皆さんが本当に真剣に受け止め、今の経済情勢の中でどうしたらいいかについて本気で考えていただいている。スケジュールありき、方針ありきではなく、議論いただいた上で定めていくことが理解に繋がっていく。丁寧に議論を重ねていきたい。

## ＜教育長＞

- ・新型コロナウイルス感染症による学級閉鎖は少なくなってきた。現在3学級が学級閉鎖中であり、うち2学級はインフルエンザによるものとなっている。新型コロナウイルス感染症とインフルエンザが混在する状況がある。
- ・松尾地区のまちづくり委員会で部活動に関して説明を行った。こちらとしては伝えているつもりだが、市民の皆さんには伝わっていないことがたくさんある。現状を把握するためには、いろんな声を聴く必要があり、情報をしっかり集めることは大事だと改めて感じた。
- ・根羽村の義務教育における少子化対策について話を聞く機会があった。今ある資産、メリットをどう活かすか。それは地理的なものなど様々あるが、知恵を絞ればいろんな工夫ができることを改めて感じた。教育委員会だけではなく、しっかり情報を集め、飯田市の良さや特徴の活かし方について知恵を絞って工夫する必要がある。

## 2 協議事項

「いいだ未来デザイン2028 2023（令和5）年度戦略計画」について

## ◇趣旨

「いいだ未来デザイン2028 2023（令和5）年度戦略計画」について確認する。

## ◇意見

（企画部長）

- ・昨年と一字一句変わらない項目がある。事業を推進していくにあたり、まったく変わらないこともあるかと

思うが、少し工夫した方が良い。

- ・財政課で予算発表資料を作成しているが、予算における重点と戦略での書きぶりに相違がないように注意をしていただきたい。議会審議で非常に重要な資料となるため、各部局等の長はしっかり確認していただくようお願いしたい。
- ・議会からの提言について、議会から「しっかり実施すること」との指摘に対し、「しっかり実施します」と回答しているオウム返しのものが散見される。確認をお願いしたい。

### 3 報告事項

#### (1) 令和5年飯田市議会第1回定例会の付議案件について

##### ◇趣旨

令和5年飯田市議会第1回定例会の付議案件について報告する。

#### (2) 令和4年度一般会計補正予算（第9号）案について

##### ◇趣旨

令和4年度一般会計補正予算（第9号）案について報告する。

#### (3) 飯田市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画の一部変更について

##### ◇趣旨

飯田市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画の一部変更について報告する。

##### ◇意見

（総務部長）

- ・4月から対応が変わることについて、広報等をどのように考えているか。

（環境課長）

- ・広報誌への記事の掲載、公式Webサイトへの掲載、その他様々なもので実施する予定でいる。直近では、2月中旬に「ごみカレンダー」を配布するため、4月からのものには、変更内容を掲載する。また、ごみ分別ガイドブックという冊子を作成し、新年度早々に配布する。

（企画部長）

- ・あまり早く広報すると、現在のリサイクル方法と混同し、市民生活に混乱をきたす恐れがある。このことを考慮したため、直前に広報し、広めていきたいという考え方である。

（教育委員会参与）

- ・全国的にはリフューズを加えた4Rに変わりつつある。検討した方が良い。
- ・稲葉クリーンセンターでの焼却灰の量が増え、それが最終処分場のグリーンバレー千代に堆積をしていくことが大きな課題であった。焼却灰の一部をリサイクルに回しており、全量は回せていなかったが、プラスチックを燃やさなければ焼却灰も減っていくので、全量リサイクルに回せることになった。今回のことで大きな課題が改善することにも繋がっていることは共有した方が良い。

（市民協働環境部長）

- ・4Rとしていく動きは、大事なこととして認識している。新年度において検討していきたい。
- ・焼却灰の再資源化については、数年前からの懸案事項であり、今回目途がついたということで、稲葉クリーンセンター、グリーンバレー千代ともに良い影響を与えると考えている。

#### (4) 地域経済活性化プログラム2023について

##### ◇趣旨

地域経済活性化プログラム2023について報告する。

#### (5) 飯田市森林整備計画の策定について

##### ◇趣旨

飯田市森林整備計画の策定について報告する。

## (6) 道の駅遠山郷の再整備について

### ◇趣旨

道の駅遠山郷の再整備について報告する。

### ◇意見

(教育委員会参与)

- ・指定管理先の法人は経営難、施設は老朽化が激しく、温泉はポンプ事故により壊滅状態という三重苦の状態から、地元の皆さんや担当部署の皆さんが苦勞してここまで立ち上げてきた。
- ・行政の役割は、施設の改修と温泉の復活。投資も含めたハード面での役割を担うことが必要。
- ・事業を断念した原因として、法人の経営悪化によるモチベーションの低下、観光振興や地域振興をビジネスとして動かしていくノウハウ、経営シミュレーションも含めた経営改善のスキルに大きな課題があったと認識している。
- ・今回はどんな皆さんが中心になっているか、経営上のスキル、観光振興、地域振興上のスキルがどのように組み合わせられていくことになるかを教えていただきたい。

(遠山郷観光振興室長)

- ・前回と違い今回は、経営に携わる皆さんが、本当に自らの出資でやっていく覚悟でいる点である。出資者の皆さんは、10数名居るが、多くが会社経営者である。自身で会社を起こしてやってきた中での経験もあり、ビジネスとしてしっかりやっていく覚悟も持っている。また観光振興、地域振興の視点については、道の駅遠山郷を単に地元の集う場ではなく、目的地となるよう新しい体験メニューを創造し、稼ぎながらやっていく考えがある。
- ・相当の覚悟を持って会社を立ち上げることになった。最低でも20年は経営していく気概を持っており、一緒になって支援しながら進めていきたいと考えている。

(教育委員会参与)

- ・熱意と経営の部分は大丈夫だと思う。議会に対しても、観光振興や地域振興上のノウハウ、スキルについて説明できるよう準備しておいた方が良い。頑張ってください。

(市長)

- ・どういう顧客をターゲットとし、具体的に何を訴求するか、何を買ってもらうか、何を食べてもらうかについては、その道のプロの人たちの意見を聞く必要がある。それぞれが経営者だとしても、必ずしも観光分野に精通しているわけではないため、実際の顧客ニーズと合っているかなど、専門家に見てもらいと良い。市も、会社経営者の皆さんと一緒に考えていただくためのサポートをしっかりやっていかなければいけない。熱意だけでは乗り越えられないこともあるため、一緒に伴走しながらしっかりやっていく。

(産業経済部長)

- ・昨年度、道の駅支援機構の調査により問題点を洗い出してもらった。その結果、温泉が必要で、道の駅遠山郷を旅の目的地化していく必要があるという調査結果であった。道の駅をいくつも再生してきたプロ集団であり、他にもいろいろと分析をしていただき、運営にも協力すると言ってくれている。今回は経営者の皆さんがまずは自分たちでやるということであるが、具体的にどんなものを出し、いくらで売るかを考えていく中で、道の駅支援機構にアドバイスをいただくことが良いと考えている。
- ・この先やっていく中では、人材派遣などの二の手、三の手を打っていくことも検討していく必要がある。いろいろなネットワークを活用しながらやっていく。

## (7) 南信州リゾート株式会社事業支援について

### ◇趣旨

南信州リゾート株式会社事業支援について報告する。

### ◇意見

(教育長)

- ・グラフを見ると、事故がお客さんの減少にかなり影響しているのではないかと。対策は何かあるか。

(商業観光課長)

- ・南信州リゾートが一番大事にしていることは、安全面である。徹底して安全を確保するためのトレーニングを重ねていると聞いている。これまでも安全点検はしてきていたが、企業自ら徹底した安全訓練を行っている。

(教育長)

- ・そういったところをアピールすることは、お客さんを増やすためにとっても大事である。

(8) 飯田市住生活基本計画の見直し（一部改訂）について

◇趣旨

飯田市住生活基本計画の見直し（一部改訂）について報告する。

(9) 「第2次 飯田市生活排水処理基本計画」の決定について

◇趣旨

「第2次 飯田市生活排水処理基本計画」の決定について報告する。

(10) 水道料金の改定（値上げ）について

◇趣旨

水道料金の改定（値上げ）について報告する。

(11) 新型コロナウイルス感染症対策の現状報告について

◇趣旨

新型コロナウイルス感染症対策の現状報告について報告する。

◇意見

(教育委員会参与)

- ・新規感染者数から見ると一時期抑え込みができた時期はあったが、トータルで見ると深刻な状況になった時期もあった。よりきめ細かく検査ができる、簡易な検査ができる体制が飯田市にはあったことから、診察にかかる人が他地域より多く、感染者数が増加した可能性もある。感染者数から見た場合の事業の効果について、どのように分析しているかは共有しておく必要がある。
- ・簡易検査キットの無料配布により、どこに行っても簡易検査キットを入手すればいいのかわからないことやお金がかかることで検査することを躊躇ってしまうことを回避でき、市民の皆さんの安心感につながったことは、数字的に表すことが難しいとしても、大きな成果である。病院の関係者などの評価を聞いた上で整理するプロセスも必要ではないか。

(市民協働環境部長)

- ・飯伊地区では、保健所、医師会の連携が非常に取れていたことで、感染拡大時に非常に迅速な対応ができた。簡易検査キットをきっかけとして、医療体制も含めて連携が進んだという非常に良い効果があったことはまとめていただきたい。

(市長)

- ・全国的に例がない中でスタートし、スタートするにあたっては、専門家会議から意見をもらって、研究、社会実験が始まった。自己満足、自己完結ではいけないので、医療の視点から見てどう評価するかの見解をもらった上で、全体として評価結果が分かるようまとめ直す必要がある。

(12) 飯田市議会全員協議会（2/17）における報告事項について

◇趣旨

飯田市議会全員協議会（2/17）における報告事項について報告する。

(13) 飯田市議会各委員会協議会における報告事項について

◇趣旨

飯田市議会各委員会協議会における報告事項について報告する。

#### 4 その他、連絡事項

- (1) 職員のマイナンバーカードの取得について（総務部）
- (2) 令和5年度 庁議等予定表について（企画部）

#### 5 閉会